

平成24年度 串間市立市木小学校 学校評価外部評価書

4段階評価	4：期待以上	3：ほぼ期待通り	2：やや期待を下回る	1：改善を要する
-------	--------	----------	------------	----------

本年度の重点目標

- 学力向上及び個性を生かす教育の推進
- 地域に信頼される学校教育の推進
- 命を大切にし、心豊かな児童の育成
- 教育環境整備の推進

評価項目		評価指標	具体的数値目標及び努力事項等	結果の考察・分析及び改善策	自己評価	外部評価	学校関係者評価コメント
学力向上及び個性を生かす教育の推進	学習指導	○教育課程の工夫を行い、基礎基本の定着、応用力の向上を図る。(Web 学習の活用)	○習熟の時間（パワーアップ）の教育課程への位置付とその充実を図る。 ○W e b 学習の充実を図る。	○習熟の時間を教育課程の中に位置付け、計画的な実践で漢字や計算の力を付けた。	3.5	3.6	・保護者の評価が高い、これは学校経営方針が保護者一人一人に浸透しているからだと思われる。 ・教員を効果的に活用し、児童一人一人の思いや願いに対応した指導を行っていることが見とれる。 ・宮日新聞掲載児童が多い。日頃の指導の表れであると思う、 ・日常から研修に励んでいる学校の様子が、先生方からの情熱から感じ取ることができる。 ・表現力は、今後子ども達が生きていく上で不可欠な能力である。今後も継続し研究し、子ども達の表現力を高めていって欲しい。 ・教育論文への執筆者が多いということは、日々の勉強熱心さの表れだと思う。結果として子ども達の成長につながっていると思う。 ・スピーチ集会で話す力をつけること、意見を言う場を継続して欲しい。 ・宮崎日々新聞の募集、子供の心の成長、教師の指導の成果が出たと思われる。
		○自らの意見を持ち、素直に表現力できる児童の育成を図る。	○各単元テストの平均達成率 85 %以上を目指す。 ○少人数を生かした学習指導や複式指導の工夫をし、児童の 100 %が授業に対し、満足感をもてるようにする。 ○授業で話合いや発表の場の工夫 ・改善を行い学力向上を図る。 ○教育論文へ4名が執筆参加する	○全職員の研究授業を実施し、授業力アップに努めた。 ○市の授業力向上プログラムに全員参加させ授業力向上を図った。 ○2 席 1 名、3 席 1 名、特別 1 名 県協弘会論文 3 席 1 名			
		○個性の伸長を図り、学級の支持的風土を育みつつ、集団の中の一員としての学習習慣を育成する。	○児童がいきいきと自分の考えをスピーチできるようにするための場の設定を工夫する。 ○スピーチに係わる学級での取組を充実させる。	○継続的な「スピーチ集会」で、発表原稿を見らずに、意見や考えを発表できる児童を育てることができた。			
		○特別支援教育の充実に努める。	○特別支援教育推進支援員の活用 の充実をする。	○1 年と 5 年の児童の支援に計画的な活用を図った。			

評価項目		評価指標	具体的数値目標及び努力事項等	結果の考察・分析及び改善策	自己評価	外部評価	学校関係者評価コメント
地域に信頼される学校教育の推進	地域連携	○総合的な学習の時間及び「くしま学」等において、地域の人材の活用を図る。	○地域に根ざした教育を推進をし総合的な学習の時間や「くしま学」の充実を図る。 ○総合的な学習の時間の年間計画を見直しを進める。	○郷土学習で、市木地区の幸島と石波樹林について充実した調べ学習の場を設けた。	3.6	3.7	・市木小の先生方は非常に熱心である。そのため地域からの評価も高いと思う。 ・地域と学校の信頼関係が他のどの学校よりも構築できていると思う。また小中連携もできている。 ・保育所との連携も密にさせていただいており、読み聞かせに参加させていただいたり、いろんな交流会に招待されている。大変ありがたく思う。 ・学校と家庭そして地域の連携、三位一体の連携が十分なされているからこのような評価になったと思う。 ・高齢者の方から、子ども達との交流を楽しみにしていると聞く。さらに地域との交流を深めていただきたい。 ・他の組織の人からも学校のよいことを聞く。周りからの評価も高いと思う。 ・教師が地域行事によく参加している。それぞれ家
		○学校の様子を新聞、学校だより、ホームページで発信する。	○学校のホームページ更新を頻繁にする。 ○「学校だより」を充実する。 ○児童作品の新聞掲載をことにより積極的な情報公開を行う。	○ホームページ更新数は串間市で最多で、その内容も絶賛された。 ○学校だよりを継続的に発行し地域へ回覧をすることができた。 ○宮日新聞掲載はすでに 24 回である。掲載数は最多である。			
		○開かれた学校を目指し、特色ある学校経営に努める。	○地域の行事等にも積極的に協力する。	○地区の大きな行事に、児童が学習の成果を発表する場を設けた。教員と保護者は出店等で協力体制をとり児童の支援にあたった。			
		○中学校区合同による学力	○小中連携授業の実施を図る。	○英語、理科、体育で中学校教員			

		向上への取組を充実させる。	○保小連携の取組を実施する。 ○小高連携の取組を実施する。	が小学校へ乗り入れ、計画的な授業を実施し、その成果を得た。		庭もあり大変だと思うが、ありがたい。 ・子ども達は三角食べができるようになった。また楽しんで給食を食べている。 ・かめの放流等、学校、地域が一体となって活動をしている。地域との信頼関係が高まっている。 ・学校だよりは、学校のことや先生方の子ども達を思う気持ちがよく伝わり、温かい気持ちになる。
--	--	---------------	----------------------------------	-------------------------------	--	---

評価項目		評価指標	具体的数値目標及び努力事項等	結果の考察・分析及び改善策	自己評定	外部評定	
命を大切に し心豊かな 児童の育成	生徒指導 保健体育指導	○生命尊重を図る指導の充実を図る。	○登校班における交通安全指導の徹底を図る。 ○全校朝会等全児童が集まる場での具体的な指導を行う。 ○家庭との連携を図る。	○非常時の避難訓練で、津波時の避難場所の確認や風水害での保護者の迎え体制作り（メール連絡、連絡先カードの作成等）を行った。	3.5	3.5	・子ども達の絵画も表彰されている。心もしっかり育てていただいていると思う。 ・先生方は非常災害の防災の研修にも参加されていると聞く。それが、子ども達に生きていると思う。登下校中に通学路で地震があったら時など、子ども達によく考えさせておられることがありがたい ・朝、教頭が自転車で回っている。校長、生徒指導主事も車で回っている。毎日していただいてありがたい。 ・子供の挨拶が大変よくなっている、引き続きお願いしたい。 ・いつ非常時災害に遭遇するかわからない。緊急メールや避難確認体制を作られたことは大変よいと思う。
		○人間尊重を基盤に据えた人権教育の推進を図る。	○定期的に教育相談を実施し、悩み等に早期対応する。 ○体験活動や児童会集会活動の充実を図る。 ○ナイスウィークデイ市木親子チェックにおける基本的な生活習慣の定着率80%を目指す。	○月一回定期的に教育相談の日を設け、児童の悩み等の早期発見やその対応を図る体制を作った。 ○「あいさつ」等、基本的な生活習慣の定着に努めた喜多。			
		○心の教育の推進のため、道徳の時間及び読書活動の充実を図る。	○読書環境の充実を図る。 ○児童に年間低学年100冊以上 中学年80冊以上高学年60冊以上の本を読むようにする。	▲親子読書を設けることで、読書に対する意欲付けを図ってきたが、定着化にはさらに時間を要する。			

評価項目		評価指標	具体的数値目標及び努力事項等	結果の考察・分析及び改善策	自己評定	外部評定	学校関係者評価コメント
教育環境の整備の推進	教育環境整備	○学校・学級内の機能的な整頓に努める。	○校内施設の安全点検を定期的の実施し、校内美化に努める。	○学校と保護者が連携し、児童の通学路を実際に歩き、一つ一つ細かく安全点検を行う場を設けた。 ○朝のボランティア活動が定着し校内美化が図れた。	3.3	3.4	・朝の校内美化ボランティア活動をがんばっている ・学校がきれいでゴミを見かけない。 ・学校がいつも清掃されている。少ない子ども達でよく清掃している。その努力が分かる。また、少ない職員でよく美化には心がけてもらっていると思う。 ・PTA、用務の方が美化に心がけておられる姿をよく見る。ありがたい。 ・作品掲示に力を入れてほしい。
		○作品等を展示するなど、効果的な掲示に努める。	○計画的で、持続性に富んだ設営等を工夫し、学習環境の整備・改善に努める。	▲次年度は、計画的かつ効果的な掲示を目指したい。			
		○学校・学級園の整備を図る。	○計画的な学校・学級園の整備に努める。	○野菜作りなど、年間を通して行ってきた。また、郵便局前の市木っ子花壇の美化を図っている。 ▲プランターの植物の世話活動が不足していた。 ▲市米田の取組は、児童数や保護者の減少により難しくなっているため、有志による取組となった。			